



# みつばちの適正管理で 園芸作物の安定生産を！

## みつばち利用中

農薬散布時は、ハウス内にみつばちが入らないよう出入り口をふさぎましょう。

農薬散布後はハウス内の換気を十分行い、薬剤の影響日数が経過した後、みつばちを戻しましょう。



(写真) 薬剤散布時の巣箱設置例  
※出入口にベニヤ板等を設置

## みつばち利用後

買取みつばちの利用後は、伝染病防止のため、必ず巣箱を**焼却処分**しましょう。

※リースみつばちの場合は養蜂家へお問い合わせください。

## みつばちの様子がおかしいと思ったとき

大量の死虫が巣箱の周囲で見られる場合など、みつばちの異常を発見したら、各地域のみつばち連絡協議会へご報告ください。

※リースみつばちの場合、養蜂家へご相談ください。

### 【各地域みつばち連絡協議会連絡先】

	住所	電話 (FAX)
県央地域 (県央振興局農業企画課)	諫早市永昌東町 2-8	0957-22-0389 (0957-22-6808)
島原地域 (島原振興局農業企画課)	島原市西八幡町 8509-2	0957-62-3610 (0957-62-4303)
県北地域 (県北振興局農業企画課)	佐世保市吉井町 大渡80	0956-41-2033 (0956-64-2239)
五島地域 (五島振興局農業振興普及課)	五島市福江町 7-1	0959-72-5115 (0959-72-5117)
杵岐地域 (杵岐振興局農業振興普及課)	杵岐市芦辺町 国分東触678-7	0920-45-3038 (0920-45-3045)
対馬地域 (対馬振興局農業振興普及課)	対馬市厳原町 宮谷224	0920-52-4011 (0920-52-0960)

みつばちの異常とは、具体的には以下1～3のような場合です。

1. 巣門の前に死虫の山ができています
2. 死虫とともに、羽ばたきの異常や震えの見られる生虫が見られる
3. 舌を突き出して死んでいる蜜蜂が多く見られる

この他にも、働き蜂の減少等異常と思われるみつばちを発見した時は、ご報告ください。



※詳細については、裏面をご覧ください。

みつばちに関する情報は、県HPで発信しています。ぜひご覧ください。



URL : <https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/shigoto-sangyo/nogyo/tokuyoukatiku/>

【発行】長崎県・長崎県みつばち連絡協議会  
(事務局：長崎県農林部畜産課)

TEL : 095-895-2954  
FAX : 095-895-2593

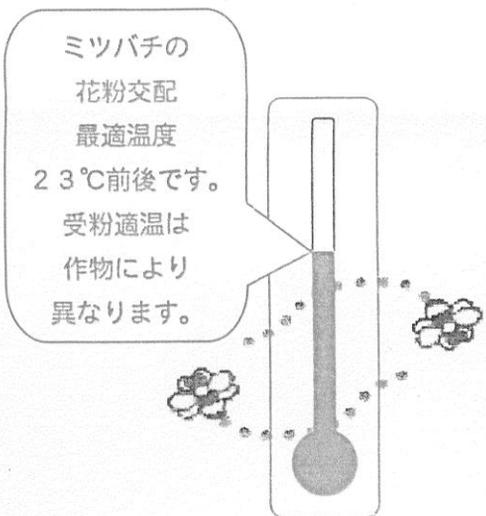
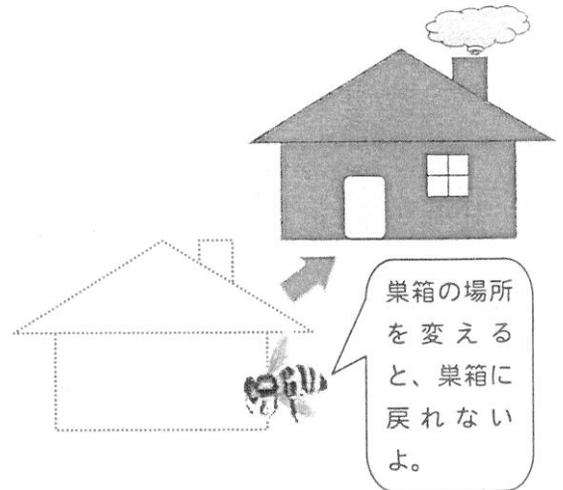
# ミツバチの適正な管理方法

長崎県養蜂協会

ハウス内でミツバチを使用する場合は、以下の点に注意し、適正に管理してください。

## 1. 巣箱を置く最適な場所

- ① 冬季は巣箱内が12℃を下回ると、ミツバチの活動が鈍くなるため、日当たりの良い南面に置くようにしましょう。
- ② 巣箱はハウスの外に置き、日当たりが良く、30℃以上の高温にならない場所に置きましょう。
- ③ 巣箱は人が近づきにくい、静かな所に置きましょう。
- ④ ハウスとミツバチの巣箱の間隔は15cm以上離して置きましょう。



## 2. ミツバチの管理の仕方

- ① ミツバチの花粉交配に最適な温度は、23℃前後です。
- ② 巣箱を一度置いた場所から動かすとミツバチが戻ってこられなくなります。設置する前に位置を決めて、その後は動かさないようにしましょう。
- ③ 紫外線カットフィルムで被覆したハウスでは、ハウス内のミツバチが紫外線を感じることができず、位置を正確に把握できずに飛べなくなるので注意しましょう。

## 3. 薬剤散布時の注意点

- ① ミツバチは薬剤に弱いので、巣箱は必ずハウスの外に置きましょう。
- ② 薬剤散布前には、ベニヤ板やビニール等で出入り口をふさぎ、薬剤等がミツバチに届かないようにしてください。(殺菌剤でも同様)
- ③ 薬剤散布後は、ハウス内の換気に努めましょう。
- ④ 薬剤の種類により、残効性が異なりますので、薬剤の影響日数を確認の上、放飼してください。

